

産業応用フォーラム

「自動車用電源システムとその活用」

概要:クルマを取り巻く環境は、化石燃料不足、地球温暖化、大気汚染という3つの主要な課題に取り囲まれています。この課題に対応すべく、アイドルストップ車、48VマイルドHEV、HEV、PHEV、EV、FCVなど、車両の電動化が進んでいます。新しいデバイス技術や外部から電力供給されるEVのようなクルマの使われ方の変化は、自動車産業だけでなく、それ以外への産業、電力系統など、社会全体へ与えるインパクトは小さくありません。

本フォーラムでは、進化する車両電源システム、それらを構成するデバイス技術、設計・開発で重要なツールとなるシミュレーション技術など、自動車用電源に関する技術動向から、自動車用電源の社会全体への影響について、将来展望や課題の調査結果をまとめ、「自動車用電源システムとその活用調査専門委員会」のメンバーを講師とし解説いたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時:平成29年6月22日(木)13:30~17:00

会場:機械振興会館 研修1室 東京都港区芝公園3-5-8 TEL: 03-3434-8216

東京メトロ日比谷線 神谷町駅下車、徒歩8分

<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html> (送迎バス:http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/img/bus_20161221.pdf)

プログラム:

1. 13:30-13:45	開会挨拶	貝塚正明技術委員長(本田技術研究所)
2. 13:45-14:15	総論	立花 武(トヨタ自動車)
3. 14:15-14:45	自動車電源システム	小川 誠(いすゞ中央研究所)
	休憩	
4. 15:00-15:20	自動車用電源要素技術;各種デバイス	大林 和良(デンソー)
5. 15:20-15:40	自動車用電源要素技術;電池・蓄電デバイス	古川 淳(古河電池)
6. 15:40-16:00	自動車用電源要素技術;シミュレーション	重松 浩一(サイバネットシステム)
7. 16:00-16:40	自動車電源の活用	太田 豊(東京都市大学)
8. 16:40-17:00	総合質問,閉会挨拶	立花 武(トヨタ自動車)

司会進行:高橋佑典(本田技術研究所),平山裕樹(古河 AS)

テキスト:電気学会技術報告「自動車用電源システムとその活用」をテキストとして使用します。

なお、希望者には特別価格(¥2,000)で頒布しますので、お申し込み時にその旨をご記載ください。

参加費: 会員(正員) ¥6,000-(不課税) 非会員(一般) ¥12,000-(税込)

会員(准・学生員) ¥3,000-(不課税) 非会員(学生) ¥6,000-(税込)

申込方法:下記いずれかの方法より、お申し込みください。

○ホームページからのお申込み:<http://www.iee.or.jp/forum.html>

○電子メール,またはFAXでのお申込み:「産業応用フォーラム「自動車用電源システムとその活用」参加申し込み」と題記し、会員/非会員の別、氏名、所属、連絡先(住所、電話、ファックス、電子メール)、テキストの要・不要の別をご記入の上、6月9日(金)までに下記へお申し込みください(定員100名に達し次第、締め切らせていただきます)。

(株)いすゞ中央研究所 小川誠 E-mail: makoto-ogawa(at)isuzu.co.jp

参加費支払い方法:参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

主催:電気学会産業応用部門 自動車技術委員会(本田技術研究所 貝塚正明委員長)

協賛:同技術委員会 自動車用電源システムとその活用調査専門委員会(トヨタ自動車 立花武委員長)

なお、フォーラム終了後、講師の方との意見交換の場として懇親会(会場近くを予定)を企画しております。

奮ってご参加ください。参加ご希望の方は、申込フォームの連絡欄に「懇親会への参加希望」とご明記ください。